

コイン駐車場 新段階へ

日本システムバンク

野坂社長、福井で講演



コインパーキング事業の今後の展開について語る野坂社長。26日夜、福井市のザ・グランユアーズフクイ

ますも証券(本社福井市)は26日夜、第41回異業種交流会を同市のザ・グランユアーズフクイで開き、コインパーキング運営の日本システムバンク(本社同市)の野坂信嘉社長が講演した。新技術の導入や敷地の

新たな活用などを積極的に進め、「事業を次のステージに進める」と意欲を語った。

同社は1996年創業。当時、駐車場の大半を占めていた月決めをコインパーキングに変える「駐車場革

命」を進め、「違法駐車減などに貢献してきた」と説明した。

近年はデジタル技術を取り入れ、精算機器を置かず、看板に掲示したQRコードで電子決済できる駐車場の実証実験などを展開。将来の自動運転車の普及を見据え、駐車スペースまでの安全で正確な導線を車に伝える機器の研究も進めるとした。

敷地の新たな活用法として、車や自転車のシェアリングビジネスの受け渡し拠点、冷凍食品の無人販売所などに生かしている事例を紹介。常に将来の姿を模索し「安全安心、便利で快適なまちづくりのお手伝いをしたい」と話した。

県内の経営者ら約230人が聴講した。(大西崇弘)